

議 長  
確認印

総務常任委員会会議録

|         |   |
|---------|---|
| 1 日 時   | 開会 平成 28 年 5 月 12 日 16 : 35<br>閉会 平成 28 年 5 月 12 日 17 : 05  |
| 2 場 所   | 議員控室  |
| 3 出席委員  | 鈴木茂、七宮広樹、藤田一男、割貝寿一、吉田広明、下重義人、鈴木孝則   |
| 4 欠席委員  | なし  |
| 5 出席要求者 | なし  |
| 6 職務出席者 | 議会事務局長  |
| 7 説明員   | なし  |
| 8 付議事件  | 第 1 閉会中の継続調査  |
| 9 議事の経過 | <p>副委員長（七宮広樹委員）開会<br/>委員長（鈴木茂委員）あいさつ</p> <p>第 1 閉会中の継続調査<br/>委員長：継続調査の内容について協議する。本委員会の所管する事務の中で調査対象を絞りたい。意見はあるか。<br/>委員長：子育て支援は重要な課題。行政組織を「こども」に縛って再編した自治体の視察を行ってはどうか。時期は、6 月定例会以降にせざるを得ないので定例会で継続調査の手続きを取りたい。<br/>吉田委員：待機児童の問題は解決されていない。子ども園の計画があるがその間の解決策を検討しなければならない。<br/>委員長：施設というより保育士不足が問題となっている。<br/>町の対応なども調査対象である。多くの方と意見交換を行ってはどうか。<br/>藤田（一）委員：それは議員全員でやるべきでは。<br/>事務局：単独で問題ない。<br/>委員長：少子対策ばかりでなく高齢化対策も重要。見守り隊との意見交換も行ってみたい。<br/>保健推進員も組織化されていないなど問題がある。<br/>吉田：見守り隊には行政区長が入るべきでないか。<br/>事務局：意見交換を行うことが目的ではないだろう。行政課題の現状分析、解決のために調査を実施するもの。はじめから、方法論を協議したのでは、単発的になってしまう。問題点の共通認識や現状把握によって、どのような調査が有効か考えるべき。問題点の整理をしないで意見を聞いても、それで終わってしまう。次に続かない。<br/>鈴木（孝）委員：とりあえず子育て対策窓口を一本化した他の事例を見てそれから問題点の整理をすることでどうか。<br/>委員長：少子高齢化に関することを本委員会の課題とし調査を行うこととする。</p> |

副委員長：閉会

埴町議会委員会条例第 27 条の規定により署名する。

平成 年 月 日

総務常任委員長